

ぼうさいガイド

急な大雨から身を守るために

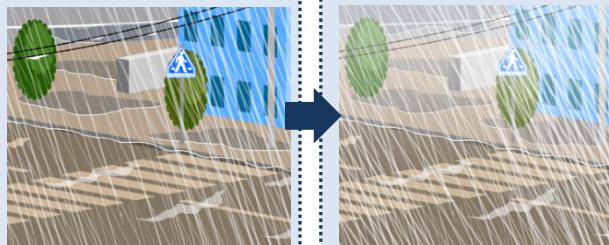
[作成] 日本赤十字社愛知県支部,名古屋地方気象台
[監修] 愛知工業大学地域防災研究センター長 横田 崇 教授

大切な命を守るために
急な大雨について
知っておこう!



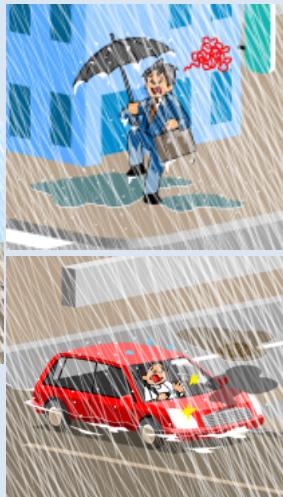
1時間に30mm以上の雨が降ったときの外の様子

30mm以上の雨が
降ったとき



道路が川のよう
なることがあります

50mm以上の雨が
降ったとき



水しぶきで視界が
悪くなり、傘がさ
せず、車の運転が
危険になります



急な大雨による災害



提供：国土交通省 九州地方整備局



提供：国土交通省 中部地方整備局

出典：気象庁パンフレット（急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう）

- 地下に水が流れ込み、逃げられなくなります
- 急に川の水が増し、川原に取り残されたり流されたりします



雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで 足元がぬれる		
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り		地面一面に水たまりができる	ワイパーを早くしても見づらい
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように 降る	傘をさしていてもぬれる	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に 水膜が生じブレーキが効かなくなる (ハイドロブレーニング現象)
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のよう降る (ゴーゴーと降り続く)		水しぶきであたり一面が 白っぽくなり、視界が悪くなる	
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感が ある。恐怖を感じる	傘は全く役に立たなくなる		車の運転は危険

ぼうさいガイド

雷・竜巻から身を守るために

[作成] 日本赤十字社愛知県支部,名古屋地方気象台
[監修] 愛知工業大学地域防災研究センター長 横田 崇 教授

大切な命を守るために
雷・竜巻について
知っておこう!



雷・竜巻（積乱雲）が近づくサイン

真っ黒い雲が
近づいてきた



雷の音が
聞こえてきた



急に冷たい風が
吹いてきた



- 雷・竜巻は発達した積乱雲（入道雲）から発生します。
- 屋外では、周囲の状況に注意し、雷・竜巻を引き起こす積乱雲が近づくサインを見逃さないことが大切です。



雷が近づいてきた時の行動



グラウンドなど、周りが開けた場所は
危険です。建物の中に入って！



木に落ちた雷で感電することがあります。木のそばからはなれて！

しばらくの間、
車やじょうぶな建物の中で
身を守りましょう

雷と竜巻、安全な場所は違うよ！

雷

- ✖ 屋外は危険
- 車やじょうぶな建物の中は安全

竜巻

- 屋外でもビルの間や側溝等にふせることで避けられる
- ✖ 車やプレハブの中は車やプレハブごと飛ばされて危険

竜巻が近づいてきた時の行動

屋外では
頑丈な構造物の物陰に入って、
身を小さくする。

屋外では
物置や車庫・
プレハブ（仮設建築物）の中は危険。

屋外では
シャッターを閉める。

屋内では
家の1階の窓のない
部屋に移動する。

屋内では
窓やカーテンを
閉める。

屋外では
電柱や太い樹木
であっても
倒壊することが
あり、危険。

屋内では
丈夫な机やテーブルの下に入るなど、
身を小さくして頭を守る。